

2026年度 学生募集要項

(帰国生徒特別選抜)

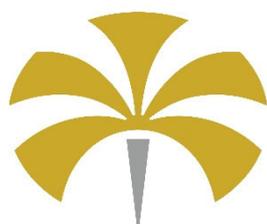
現代システム科学域

文学部

理学部

農学部

獣医学部



本学の入学試験は、学部・学域等によって選抜方法が異なりますので、記載内容を熟読して、出願手続、受験等について間違いのないよう注意してください。

学生募集要項で公表した内容に変更が生じる場合は以下の Web サイトで公表しますので、随時確認してください。

○大阪公立大学 入試情報サイト
<https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/>



2025年7月
大阪公立大学

目 次

大阪公立大学の3つのポリシー.....	1
〔1〕 募集人員.....	8
〔2〕 入学者選抜方法等.....	8
〔3〕 選抜期日等（試験科目・時間割、試験会場）.....	9
〔4〕 出願手続（インターネット出願）	
1 出願期間.....	10
2 出願方法.....	10
3 受験票・受験上の注意の印刷.....	11
4 入学検定料等の支払方法.....	12
5 出願についての注意.....	12
6 受験上・修学上の配慮について.....	13
〔5〕 学部・学域等の選抜方法等.....	15
現代システム科学域.....	16
文学部.....	18
理学部.....	20
農学部.....	22
獣医学部.....	24
〔6〕 合格者発表	
1 合格者発表について.....	26
2 合格通知書及び入学手続案内.....	26
〔7〕 入学手続	
1 入学手続について.....	26
2 入学許可の取消し.....	27
〔8〕 学費（入学料・授業料等）	
1 入学料.....	27
2 授業料.....	27
3 その他.....	28
〔9〕 経済支援制度について.....	28
〔10〕 個人情報の取扱いについて	
1 個人情報の定義.....	28
2 個人情報の利用.....	28
〔11〕 その他	
1 個人別成績の情報提供について.....	29
2 過去問題について.....	29
3 注意事項.....	29
試験会場交通アクセス.....	30
問合せ先・各キャンパス窓口.....	31
郵送先.....	31

大阪公立大学の3つのポリシー

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

大阪公立大学では、学士課程教育を通して、現代人として必要な教養を修得し、国際感覚の錬磨によって幅広い視野に立ち、自主的・総合的な判断力、問題解決能力、及び豊かな人間性と社会に積極的に参加する市民的公共性を身に付け、生涯にわたり継続的・発展的に学び成長できる人材を育成する。

このため、学士課程では、各学部等のカリキュラム・ポリシーに準じたカリキュラムを全学共通教育としての「基幹教育」と「専門教育」の2つに区分する。基幹教育は、その企画・運営組織として「国際基幹教育機構」を設置し、外国語の運用能力を含めた国際的なコミュニケーション能力、幅広い視野に立つ自主的、総合的な判断力と問題発見・解決能力を養い、継続的、発展的な学修を支えるためのコアを形成することを目指すとともに、Society 5.0時代などに求められる人材や高等教育の目指すべき姿など大学への社会的要請を踏まえ幅広い知識の獲得を目指す。専門教育では、さらに専門領域の基礎的知識に加え、実践的態度、倫理的態度、創造的な感性や知性という広義の教養を備え、卒業後も学び続ける姿勢を身に付けることができるように高度で専門的な内容を修得することを目指す。各学部等の教育課程では、基幹教育と専門教育を通じて必要な知識・技能・態度・能力等を獲得し、これらを活用し、社会変化に対応できる人材となることを目指す。

全ての学生が（知識・理解）、（技能）、（態度・志向性）、（統合的な学修経験と創造的思考力）の領域で、下記の具体的な学修成果を上げることが目指す。

学士課程で目指す学修成果

（知識・理解）

- 多様性について学び、他文化・異文化に関する知識を尊重・理解することができる。
- 人間と言語・文化、科学と技術、社会と歴史、環境と健康・スポーツについて尊重し、理解を深めることができる。
- それぞれの専門領域の知識と技術を体系的に学び、応用できる。

（技能）

- 日本語や外国語を用い、それぞれに求められる水準で受信、発信、やりとり、仲介を行うことができる。
- 自然や社会現象について数学・統計を用いて分析し、意思決定に活用できる。
- 情報通信技術（ICT）などを用いて多様な情報を収集・分析して適切に判断し、モラルに則って効果的に活用することができる。
- 情報や知識の複眼的、論理的分析に基づき、批判的思考（クリティカル・シンキング）をし、更に表現することができる。
- 問題を発見するスキルや、解決に必要な情報を収集・分析・整理するスキルを獲得し、その問題の解決に向かうことのできる実践力を身に付ける。

（態度・志向性）

- 自分で考え、良心に従い、社会のルールを尊重して自分の責任で判断し行動できる。
- 他者と協調して行動でき、また、必要に応じて他者に方向性を示し、リーダーシップをとることができる。
- 地域をはじめとする社会の一員としての意識を持ち、社会の発展のために積極的に関与できる。
- 自ら学ぶ姿勢を身に付け、生涯にわたって進んで学修できる。

（統合的な学修経験と創造的思考力）

- これまでに獲得した知識・技能・実践力等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決することができる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

大阪公立大学における学士課程教育では、専門分野を学ぶための基礎教育や学問分野の枠を越えた普遍的・基礎的な能力の養成にあると考え、専門分野の学修を通じて学生が知識の獲得だけではなく、前述の「学士課程で目指す学修成果」を達成しているかなど、社会が求める人材養成にも配慮した教育課程編成を行う。

授業科目は、基幹教育科目及び専門科目により構成する。基幹教育科目は主に1年次・2年次において学び、専門科目は2年次以降に学ぶことにより、有機的・体系的な編成を行う。基幹教育科目は以下の方針で編成している。

- 学生として自ら学ぶ姿勢を身に付け、アカデミックスキルの基礎を身に付けるため、1年前期必修科目として「初年次ゼミナール」を導入する。
- 学生の視点に立った学修の系統性や順次性を重視し、各々のカリキュラムの中で中核となる科目を必修科目と位置づけ、学生にとって履修計画が立てやすいものとする。
- 基幹教育と専門教育との接続性を重視し、学士課程全体を通して学修成果が達成できるカリキュラムを構築する。
- 全学的な協力体制の下で、複数の専門分野にまたがる横断的な科目の配置、全学の学生が目指すべき進路や興味関心に応じて自由に選択・履修できる「副専攻」の設置など、学域・学部の枠を越えて幅広く学ぶことができる教育課程の編成を行う。
- 学期は、1年を前期・後期の2学期制とし、15週の授業期間と試験期間を設ける。

また大阪公立大学は、学生の学修成果を適切に把握するため、教育推進本部が定める「大阪公立大学における教育の内部質保証に関する方針」のもと、基幹教育科目と専門教育科目をそれぞれ提供する国際基幹教育機構と各学部（学域）においてアセスメントポリシーとアセスメントリストを定め、複数の評価指標・方法を用いて定期的に学修成果の評価を行う。また、国際基幹教育機構と各学部（学域）において、科目の到達目標の達成状況を基準にした成績評価ガイドラインを定め、各科目における成績評価を実施する。科目の到達目標および評価方法・評価基準はシラバスに明記する。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

大阪公立大学は、学士課程を通して、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果を修める学生を育成して教育目標を達成するために、人間性豊かで、多様な関心、柔軟な思考力を持ち、科学・産業・文化・社会の発展や持続可能社会の実現に寄与しようとする志を持つ、向学心旺盛で優れた資質を有する学生を、広く国内外から受け入れる。

そのために、本学の学士課程では以下の方針に基づいて、学生の多様な能力を評価するための入学者選抜を実施する。従って、この方針をよく理解したうえで、高等学校までの学びを深め、広めることを期待する。

- (1) 高等学校教育段階において目指す学力の3要素を確認する。
- (2) 本学の基幹教育に十分に対応できる準備性を備えていることを確認する。
- (3) 学域や各学部のアドミッション・ポリシーに示す資質を備えていることを確認する。

現代システム科学域

求める学生像

現代社会においては、環境問題、社会・福祉問題、心理的問題が複雑に絡み合い、現在のような豊かな社会が持続可能かどうかは疑問視される状況となっており、これらの複雑な問題を解決し、持続可能な社会を実現するという高い志を持った人材の育成が求められている。本学域では、複数の学問分野を融合的に学びつつPBL（Project-Based-Learning）に取り組むことを通じて、現代社会の諸問題を解決することができる人材を養成することを目指す。

したがって、本学域では、次のような学生を求めている。

（知識・技能）

- 1 高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、基礎的な知識・技能を有している人
（思考力・判断力・表現力）
- 2 問題解決を行うための基礎的な思考力・判断力を有している人
- 3 自分の考え方や意見を他者に的確に伝えるための基礎的な表現力を有している人

（社会の諸問題への関心）

- 4 現代社会の諸問題に対する関心を有している人

知識情報システム学類

知識情報システム学類では、情報学およびその応用分野を学びながら、他の学問領域の学生と協働的にPBL（Project-Based-Learning）に取り組むことを通じて、現代社会におけるさまざまな課題を解決するために情報システム開発・活用することができる人材を養成する。

したがって、知識情報システム学類では、次のような学生を求めている。

（知識・技能）

- 1 高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、知識情報システム学を学ぶための基礎的な知識・技能を有している人
（思考力・判断力・表現力）
- 2 問題解決を行うための基礎的な思考力・判断力を有している人
- 3 自分の考え方や意見を他者に的確に伝えるための基礎的な表現力を有している人

（社会の諸問題への関心）

- 4 現代社会の諸問題に対する関心を有している人

環境社会システム学類

環境社会システム学類では、自然科学、人文・社会科学、人間科学の融合領域を学びながら、他の学問領域の学生と協働的にPBL（Project-Based-Learning）に取り組むことを通じて、自然環境、社会環境、環境哲学・政策の課題を総合的に解決できる人材を養成する。

したがって環境社会システム学類では、次のような学生を求めている。

（知識・技能）

- 1 高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、環境社会システム学を学ぶための基礎的な知識・技能を有している人
（思考力・判断力・表現力）
- 2 問題解決を行うための基礎的な思考力・判断力を有している人
- 3 自分の考え方や意見を他者に的確に伝えるための基礎的な表現力を有している人

（社会の諸問題への関心）

- 4 現代社会の諸問題に対する関心を有している人

教育福祉学類

教育福祉学類では、社会福祉学、保育学、教育学、ジェンダー論及びその関連分野を学びながら、他の学問領域の学生と協働的にPBL（Project-Based-Learning）に取り組むことを通じて、教育福祉に関わるさまざまな課題を総合的に解決できる人材を養成する。

したがって、教育福祉学類では次のような学生を求めている。

（知識・技能）

- 1 高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、教育福祉学を学ぶための基礎的な知識・技能を有している人
（思考力・判断力・表現力）

- 2 問題解決を行うための基礎的な思考力・判断力を有している人
- 3 自分の考え方や意見を他者に的確に伝えるための基礎的な表現力を有している人
(社会の諸問題への関心)
- 4 現代社会の諸問題に対する関心を有している人

心理学類

実験心理学と臨床心理学を統合的に学びながら、他の学問領域の学生と協働的にPBL (Project-Based-Learning) に取り組むことを通して、ヒトの心理的問題を解決できる人材を養成する。

したがって心理学類では、次のような学生を求めている。

(知識・技能)

- 1 高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、心理学を学ぶための基礎的な知識・技能を有している人
(思考力・判断力・表現力)
- 2 問題解決を行うための基礎的な思考力・判断力を有している人
- 3 自分の考え方や意見を他者に的確に伝えるための基礎的な表現力を有している人
(社会の諸問題への関心)
- 4 現代社会の諸問題に対する関心を有している人

入学者選抜の基本方針

上記の評価方法は以下のとおりである。

【帰国生徒特別選抜】

(知識・技能) 成績証明書、個別学力検査を用いて評価する。

(思考力・判断力・表現力) 個別学力検査、口述試験・面接を用いて評価する。

(社会の諸問題への関心) 口述試験・面接、志望理由書を用いて評価する。

文学部

求める学生像

文学部は、予測不可能な時代、高度知識基盤社会、グローバル社会にあつて、自分のよさや可能性を認識し、あらゆる他者を尊重し、多様な人々と協働しながら、豊かで持続可能な社会の創り手となる人の育成を目指す。

具体的には、(1)人文科学・行動科学の方法や考え方を通して人間、社会、文化、言語の諸事象について深く考えることができ、(2)コミュニケーション能力を身につけ、国際的、歴史的視野から問題解決をはかる能力を備え、また(3)教育機関、文化行政、出版・ジャーナリズム、国際交流、情報サービス産業などの第一線で活躍できる専門職業人を育成することを目標とする。

以上の目標に対応して、文学部では、次のような学生を求める。

- 1 自らの将来像を自覚的に形成し、それに向けて努力し具体的に取り組む意欲を持っている人
- 2 学修のための基礎的な能力を持ち、以下のような学問的関心を有する人
 - ・人間の思考と社会・文化の生成発展について考えてみたい人
 - ・人間行動の原理と社会のしくみについて考えてみたい人
 - ・さまざまな言語や文学・芸術について考えてみたい人
 - ・さまざまな文化的営みを社会のなかで活かす方法を考えてみたい人
 - ・論理的思考を鍛え新しいものの見方を求めようとする人
- 3 学部・学科・コースの目的や教育内容を理解し、自らの将来像と関連させて考えている人
- 4 入学後に上記の能力や関心を活かして学部・学科・コースの教育目標を深く理解し、創造的に学べる発展可能性を持つ人

入学者選抜の基本方針

文学部では、一般選抜（前期日程・後期日程）と特別選抜（国際バカロレア・帰国生徒・私費外国人留学生）に区分して入学者選抜を実施し、学修成果や能力・適性を、以下のような教科・科目等で評価する。

【帰国生徒特別選抜】

小論文・外国語試験及び口述試験を実施し、成績証明書等の出願書類も評価対象とする。小論文・外国語試験では、学力の3要素のうち知識・技能と思考力・判断力・表現力を評価する。また、口述試験では、学ぶ意欲と文学部での学修に十分に対応できる知識・技能と思考力・判断力・表現力を、それぞれ確認する。さらに、志望理由書等材料として主体性・多様性・協働性についても評価し、以上の各評価を総合して選抜を行う。

理学部

求める学生像

中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」は、21世紀を「知識基盤社会」の時代と位置づけ、「人々の知的活動・創造力が最大の資源である我が国にとって、優れた人材の育成と科学技術の振興は不可欠」と提言している。国際競争が激化するこれからの社会において、科学技術の実力は、国力を左右すると言っても過言ではない。この答申を踏まえて、本学部は総合的理学部とし、研究大学を目指す本学の理系の教育・研究の中核を担う。世界第一線の研究成果を出し人類の知の最前線を切り拓くとともに、その研究活動を学部教育に還元し、次世代の我が国を担う優れた人材の育成・輩出を行うことを目的とする。

る。本学部を卒業し関連領域における研究者や技術者を目指すためには、柔軟な発想と論理的思考にもとづく課題発見能力と問題解決能力が必要である。

したがって、本学部では次のような学生を求めている。

- 1 数学や自然現象に対する強い関心と理解があり、勉学意欲に溢れる人
- 2 論理的な思考力、自ら学ぶ探究心及び問題解決に向けての実行力を備えている人
- 3 国際的視野をもちつつ、地域社会への貢献をめざそうとする人
- 4 コミュニケーション能力を身につける努力を惜しまない人
- 5 健全な倫理観に基づく判断力を備えている人

数学科

本学部の求める学生像を受けて、本学科では、数学の深い専門知識の修得と、それに基づいた洞察力や論理的思考能力の涵養を目的として教育を行う。世界レベルの数学の研究に接することを通して、洞察力、論理的思考能力、コミュニケーション能力を鍛錬し、問題解決能力を備えた専門職業人、中学校・高等学校の数学教員、及び大学院進学により更なる数学の研究を志す人を養成する。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

- 1 数学への好奇心や探究心が旺盛で、勉学意欲に溢れる人
- 2 数学を理解するために必要な論理的思考力を向上させようと努力する人
- 3 自ら進んで数学を学び、ねばり強く考えて問題解決を図ろうとする人
- 4 教員や他の学生との議論を通じて、論理的なコミュニケーションに努める人
- 5 数学を通じて社会貢献を目指す人

物理学科

本学科では、未解決の問題に論理的思考と柔軟性を持って挑む創造性豊かな人材を養成するという社会的要請に応えるために、幅広い教養教育、物理学の理論・実験の両面からの教育に、最先端の研究を組み合わせた系統的なカリキュラムを提供する。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

- 1 自然現象への好奇心が旺盛で、勉学意欲に溢れる人
- 2 物理学を学ぶための基礎的能力、自然の法則性を解明するために必要な論理的な思考力、問題解決に向けての実行力、さらに自らの知識と考えを表現できる能力を備えている人
- 3 国際的視野をもちつつ、物理学に関係する分野で社会に貢献したい人
- 4 コミュニケーション能力を身につける努力を惜しまない人
- 5 健全な倫理観に基づく判断力を備えている人

化学科

化学は、物質の成り立ちと性質を原子・分子レベルで理解する学問である。化学の知識と技術は、医薬品・化成品、環境にやさしい機能性素材・電池などの私たちの生活と暮らしに役立つ数多くの有用な物質を生み出す、基幹学問として現代社会に必要不可欠なものとなっている。本学科では、本学部のアドミッション・ポリシーを踏まえて、化学の原理を理解し、化学を実践するために必要な基礎学力を身につけ、新しい化学を創発するための化学の知識と柔軟な思考力を備えた人材を育成する。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

- 1 化学実験や理論を含む化学の幅広い分野に興味をもち、勉学意欲に溢れる人
- 2 化学に関する知識を社会におけるさまざまな問題や課題の解決に役立て、社会の発展に貢献したいと考えている人
- 3 化学を学び、その活躍の場を地域社会や世界に広げていきたいと考えている人
- 4 他の科学分野や広く社会とつながりを持ち、社会の発展のための共生共存の道を探ることができる人
- 5 科学倫理を遵守し、研究を実践できる人

生物学科

本学部のアドミッション・ポリシーを踏まえて、本学科では、生物学に関する基本原理の理解に必要な基礎学力を備え、柔軟な発想と論理的思考にもとづいて課題を発見し、それを解決する能力を持つ学生を育成する。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

- 1 生物及び生命現象に対する強い関心があり、勉学意欲に溢れる人
- 2 生物学に関する論理的な思考力、自ら学ぶ探求心及び問題解決に向けての実行力を備えている人
- 3 国際的視野を持ちつつ、生物学に関わる専門知識に基づいて地域社会への貢献をめざそうとする人
- 4 コミュニケーション能力を身につける努力を惜しまない人
- 5 健全な倫理観に基づく判断力を備えている人
- 6 自らの考えを人に伝える能力を持つ人

地球学科

幅広い自然科学及び科学技術の知識と、これらを地球の探究に展開できる能力、またグローバルな視点に基づき多面的に思考できる能力が、自然環境や地球環境問題を理解する上で重要である。本学科では、自然環境や地球環境問題を多面的にまた時系列的に捉えるための理論的手法・実験的手法、野外での調査技術、得た知見を正確に伝える能力の修養を通じて、広く社会に貢献できる人材、及び大学院進学により更なる研究を志す人材を育成・輩出することを目的とする。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

- 1 地球への好奇心や探究心が旺盛で、勉学意欲に溢れる人

- 2 地球の法則性を解明するために必要な論理的な思考力、自ら学ぶ探究心及び問題解決に向けての実行力を備えている人
- 3 国際的視野をもちつつ、地球学に関係する分野で社会に貢献したい人
- 4 コミュニケーション能力を身につける努力を惜しまない人
- 5 健全な倫理観に基づく判断力を備えている人

生物化学科

本学科では、生命現象のメカニズムを分子論的に理解する学問である生物化学の関連領域で活躍する研究者や技術者などの人材の育成を目指す。そして、これらの人材に求められる柔軟な発想にもとづく課題発見能力と問題解決能力を身につけるために必要な講義、演習、実習からなるカリキュラムを提供する。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

- 1 生命現象のメカニズムを分子論的に解明することに対して強い関心と理解があり、勉学意欲に溢れる人
- 2 生命現象のメカニズムを分子論的に解明することに対して論理的な思考力、自ら学ぶ探究心及び問題解決に向けての実行力を備えている人
- 3 国際的視野をもちつつ、地域社会への貢献をめざそうとする人
- 4 コミュニケーション能力を身につける努力を惜しまない人
- 5 健全な倫理観に基づく判断力を備えている人

入学者選抜の基本方針

【帰国生徒特別選抜】

個別学力検査により、理学の学修・研究に必要な数学・理科・英語に関する高い学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）を有していることを評価する。口述試験・出願書類により、理学の学修・研究に必要な主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を有していることを評価する。

農学部

求める学生像

今日、人類は国内外の様々な課題、すなわち、エネルギー、環境、食料、健康などに関する諸問題に直面している。農学は生物の機能と生命現象の解明や応用に加えて、自然環境、自然現象の理解、また、それらの調和と持続的な利用など多岐にわたる学問分野を内包しており、人類が抱えている諸問題解決への貢献が期待されている。そこで、農学部では広範な農学に関する専門的な知識や技術を修得するとともに、豊かな教養と問題解決能力、高い倫理観や創造力を身に付けた、産業・社会の持続的発展と学術の進歩に貢献できる専門職業人の育成をめざす。

したがって、農学部では次のような学生を求めている。

- 1 農学について学ぶことに対する明確な目的意識を持ち、社会の持続的発展に貢献する意欲を持っている人
- 2 社会における複雑な課題の発見とその解決のために、自ら深くかつ論理的に思考して判断し、表現する基礎的能力を持っている人
- 3 幅広い興味を持ち、自ら進んで学ぶ探求心を持っている人

以上に基づき、各学科が求める能力や適性を持つ学生を選抜する。

応用生物科学科

応用生物科学科は、生物の多様な潜在能力を明らかにし、その成果を人類の生活に役立てるための幅広い教育を行う。このような教育を通して、生物科学を活用できる専門的な知識や技術を修得するとともに、豊かな教養と問題解決能力、高い倫理観や創造力を身に付けた、産業・社会の持続的発展と学術の進歩に貢献できる専門職業人の育成をめざす。

したがって、応用生物科学科では次のような学生を求めている。

- 1 生物科学を持続可能な社会の構築へ役立てることにに対する明確な目的意識を持ち、その学びのための基礎的知識を持っている人
- 2 社会における複雑な課題の発見とその解決のために、自ら深くかつ論理的に思考して判断し、表現する基礎的能力を持っている人
- 3 他の専門分野とも柔軟に連携しながら、健全な社会の発展に貢献したいと考えている人

以上に基づき、次の1～5の能力や適性を持つ学生を選抜する。

- 1 物理、化学、生物のうち少なくとも2科目について深く学び、高い学力を有すること
- 2 データ解析などに必要な数学の基礎学力を身に付けていること
- 3 学術雑誌の内容の理解、レポート作成、研究内容発表のために必要な英語や国語の基礎学力と論理的な思考力を備えていること
- 4 その他の教科・科目について幅広い知識を有すること
- 5 自ら積極的に考えて表現することができ、かつ多様な分野に興味と関心を持ち、課題の発見とその解決のために他者と協働して行動できること

生命機能化学科

生命機能化学科は、化学を基盤とした生命現象の解明と生物資源の利用に関する幅広い教育を行う。このような教育を通して、広範なバイオサイエンス・バイオテクノロジーに関する専門的な知識や技術を修得するとともに、豊かな教養と問題解決能力、高い倫理観や創造力を身に付けた、産業・社会の持続的発展と学術の進歩に貢献できる専門職業人の育成をめざす。

したがって、生命機能化学科では次のような学生を求めている。

- 1 バイオサイエンス・バイオテクノロジーについて学ぶことに対する明確な目的意識を持ち、そのための基礎的知識を

持っている人

2 社会における複雑な課題の発見とその解決のために、自ら深くかつ論理的に思考して判断し、表現する基礎的能力を持っている人

3 他の専門分野とも柔軟に連携しながら、社会の持続的発展に貢献したいと考えている人

以上にに基づき、次の1～5の能力や適性を持つ学生を選抜する。

1 物理、化学、生物のうち少なくとも2科目について深く学び、高い学力を有すること

2 データ解析などに必要な数学の基礎学力を身に付けていること

3 学術雑誌の内容の理解、レポート作成、研究内容発表のために必要な英語や国語の基礎学力と論理的な思考力を備えていること

4 その他の教科・科目について幅広い知識を有すること

5 自ら積極的に考えて表現することができ、かつ多様な分野に興味と関心を持ち、課題の発見とその解決のために他者と協働して行動できること

緑地環境科学科

緑地環境科学科は、生命の基盤となる農地や自然、生活の基盤となる都市の緑地について、その保全・創成に関する幅広い教育を行う。このような教育を通して、緑地環境の保全と創成についての専門的知識や技術とともに、豊かな教養と問題解決能力、高い倫理観や創造力を身に付けた、産業・社会の持続的発展と学術の進歩に貢献できる専門職業人の育成をめざす。したがって、緑地環境科学科では次のような学生を求めている。

1 緑地環境の保全と創成について学ぶことに対する明確な目的意識を持ち、社会の持続的発展に貢献する意欲を持っている人

2 社会における複雑な課題の発見とその解決のために、自ら深くかつ論理的に思考して判断し、表現する基礎的能力を持っている人

3 幅広い興味をもち、自ら進んで学ぶ探求心を持っている人

以上にに基づき、次の1～5の能力や適性をもつ学生を選抜する。

1 物理、化学、生物のいずれかについて深く学び、高い学力を有すること

2 データ解析などに必要な数学の基礎学力を身に付けていること

3 学術雑誌の内容の理解、レポート作成、研究内容の発表のための英語や国語の基礎学力を身に付けていること

4 その他の教科・科目について幅広い知識を有すること

5 自ら進んで学ぶための主体性を有し、自ら深くかつ論理的に思考して判断し、表現する能力と学内外の社会的な活動に参加しうる多様性・協働性を備えていること

入学者選抜の基本方針

【帰国生徒特別選抜】

応用生物科学科

大学で学修するための基礎学力を有していることを、最終出身学校の成績証明書によって評価する。物理、化学、生物のうち少なくとも2科目について深く学んでいること、また国語の基礎学力を備えていることを、個別学力検査の小論文及び口述試験・面接によって評価する。数学の基礎学力を備えていることを、個別学力検査の数学によって評価する。また、英語の基礎学力を有していることを、TOEFLの成績で評価する。国際感覚、自己表現力、積極性、独自性、及び他者と協働的に取り組む姿勢を備えていることを、個別学力検査の口述試験・面接によって評価する。柔軟で論理的な思考力・判断力・表現力ならびに主体的な問題解決能力を有していることを、小論文によって評価する。

生命機能化学科

大学で学修するための基礎学力を有していることを、最終出身学校の成績証明書によって評価する。物理、化学、生物のうち少なくとも2科目について深く学んでいること、また国語の基礎学力を備えていることを、個別学力検査の小論文及び口述試験・面接によって評価する。数学の基礎学力を備えていることを、個別学力検査の数学によって評価する。また、英語の基礎学力を有していることを、TOEFLの成績で評価する。表現力、積極性、及び様々な課題について他者と協働的に取り組む姿勢を備えていることを、個別学力検査の口述試験・面接によって評価する。柔軟で論理的な思考力・判断力・表現力ならびに主体的な問題解決能力を有していることを、小論文によって評価する。

緑地環境科学科

大学で学修するための基礎学力を有していること、物理、化学、生物のいずれかについて深く学んでいることを、最終出身学校の成績証明書によって評価する。数学の基礎学力を有していることを、個別学力検査の数学によって評価する。英語や国語の基礎学力に加えて、論理的な思考力、判断力及び表現力を有していることを、TOEFLの成績、個別学力検査の小論文によって評価する。学修のための主体性、社会活動のための多様性・協働性を有していることを、面接によって評価する。

獣医学部

求める学生像

本学部は、本教育課程を卒業するためには、基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学と臨床獣医学の各科目群の習得を課すと共に、加えて獣医師としての実践能力と動物生命科学者としての研究能力を醸成させる教育を行う。このような教育を通して、単なる動物の専門家たる獣医師ではなく、動物生命科学の専門性を有しつつも、国際社会が抱える人文科学分野、生命科学分野の諸問題の解決能力をも有する人材の育成を目指す。

したがって、本学部・学科では、次のような学生を求める。

1 動物に対する先端医療、人間と動物の共生、国内及び国際的に問題となっている感染症、及び安全な食料の安定供給に

ついて学ぶことに対し明確な目的意識を持ち、社会の持続的発展に貢献する意欲を持っている人

2 生物学、科学全般に幅広い興味を持ち、論理的な思考力・判断力・表現力と自ら進んで学ぶ探求心を持っている人以上に基づき、次の1～3の能力や適性をもつ学生を選抜する。

- 1 大学入学共通テストを課すことによって、高等学校教育において習得すべき科目の内容を広く学習し、高い基礎学力を有していることを確認する。
- 2 個別学力検査によって、数学、英語、生物学、物理学、化学に関する思考力・判断力・表現力を確認する。
- 3 特別選抜では、調査書、推薦書、志望理由書、活動報告書、英語4技能試験成績証明書、面接、小論文等により、獣医師としての適性、論理的な思考力、科学全般への幅広い興味や自ら進んで学ぶ探求心、さらに多様な人々と協働して学ぶ態度や国際的な視野を持っているかを確認する。

入学者選抜の基本方針

学生の選抜方法は一般選抜の前期日程に加えて4種類の特別選抜を用意し、多様な人材の受け入れを目指す。一般選抜前期日程では高い基礎学力と論理的な思考力・判断力・表現力を有する学生を求める。特別選抜の学校推薦型選抜では、前述の基礎学力等に加えて、獣医学への関心と学習意欲が高く、世界の獣医療、獣医学において指導的役割を担う獣医師、獣医学研究者になろうという志を持つ学生を受け入れる。帰国生徒・私費外国人留学生特別選抜では海外での学習経験を有し、国際的な視野を持つ学生を受け入れる。特別選抜の産業動物獣医師地域枠では、卒業後に産業動物獣医師に就業する意志が明確な学生を求める。なお、私費外国人留学生特別選抜では日本留学試験の成績提出を課すことで、十分な日本語能力を有することを評価した上で選抜する。

※各学部・学域等の詳細（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー）は、以下を参照してください。なお、内容が一部変更となる可能性があります。

<https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/>



〔1〕 募集人員

学部・学域	学科・学類	募集人員
現代システム科学域	—	若干名
文学部	—	5名
理学部	数学科	若干名
	物理学科	若干名
	化学科	若干名
	生物学科	若干名
	地球学科	若干名
	生物化学科	若干名
農学部	応用生物科学科	若干名
	生命機能化学科	若干名
	緑地環境科学科	若干名
獣医学部	獣医学科	若干名

(注)・現代システム科学域、理学部、農学部、獣医学部については、個別学力検査等の成績により、合格者を出さない場合があります。

- ・募集人員「若干名」は、募集する学部・学域等の「一般選抜前期日程」の募集人員に含みます。
- ・文学部については、総合判定の結果により合格者数が募集人員に達しない場合があります。その欠員数は、一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。

募集方法及び学科等の決定に関する注意事項

- 1 現代システム科学域は、学域単位で募集します。文学部、獣医学部は、学部単位で募集します。理学部、農学部は、学科単位で募集します。
- 2 現代システム科学域
 - ・学域単位入学生の学類の決定は第1年次の3月末までに行います。なお、志望者多数の学類では、学類定員を基準として、選抜を実施します。そのため、志望する学類に進めない場合があります。
 - ・未来デザインコース（FDC）は、第1年次の3月末までに履修者を決定しますが、志望者が15名を超える場合は、第1年次の3月末までの成績と、コースでの学習計画を示す提出書類（未来デザイン計画）により選考を実施します。そのため、志望してもこのコースを履修できない場合があります。
- 3 文学部
 - ・哲学歴史学科（3コース）・人間行動学科（4コース）・言語文化学科（5コース）・文化構想学科（3コース）の4学科（15コース）があります。
 - ・学科・コースの決定は第1年次の1月までに行います。決定に際して、志望者多数の学科・コースでは、学科定員と標準所属者数を基準として、選抜を実施します。そのため、志望する学科・コースに進めない場合があります。また、社会調査士、認定心理士の資格は、指定するコースに所属する等の条件があります。

〔2〕 入学者選抜方法等

個別学力検査等の成績及び出願書類の内容により総合判定をします。詳細については、学部・学域等により異なりますので、志望する学部・学域等のページ（16～25ページ）を参照してください。

個別学力検査等で指定した教科・科目を受験しなかった者は、合否判定の対象にはなりません。

〔3〕 選抜期日等（試験科目・時間割、試験会場）

学部	学 科	選 抜 期 日	試 験 科 目 ・ 時 間 割		試 験 会 場
文学部	—	2025年11月8日（土）	外国語（注） 小論文 9:00～11:30 （150分）	口述試験 13:30～	森之宮 キャンパス

（注）「外国語」のうち英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語から1科目を出願時に選択してください。出願後の変更は認めません。

学部・学域	学 科 ・ 学 類	選 抜 期 日	試 験 科 目 ・ 時 間 割		試 験 会 場	
現代システム科学域	—	2025年11月22日（土）	小論文 9:30～11:00 （90分）		中百舌鳥 キャンパス	
農学部	応用生物科学科		数学 9:30～ 10:30 （60分）	小論文 11:00～ 12:00 （60分）		口述試験・面接 13:00～
	生命機能化学科					面接 13:00～
	緑地環境科学科					
獣医学部	—	数学 9:30～ 10:30 （60分）	小論文 11:00～ 12:00 （60分）	面接 13:00～		

学部	学 科	選 抜 期 日	試 験 科 目 ・ 時 間 割				試 験 会 場
理学部	数学科	1 日目 2026年2月25日（水）	1 日目			2 日目	杉本 キャンパス
	物理学科		理科 9:20～ 11:50 （150分）	英語 13:10～ 14:50 （100分）	数学 15:40～ 17:40 （120分）	口述試験 13:30～	
	化学科						
	生物学科						
	地球学科	2 日目 2026年2月26日（木）					
	生物化学科						

〔4〕 出願手続（インターネット出願）

帰国生徒特別選抜の出願手続はインターネット出願により行います。

インターネットの出願登録と入学検定料等の支払いだけでは出願手続完了にはなりません。出願書類を郵送（郵送提出期間内必着）する必要があります。

1 出願期間

学部・学域	インターネット出願登録開始日時	出願書類の郵送提出期間
現代システム科学域	2025年10月3日（金）10:00	2025年10月6日（月） ～2025年10月9日（木） 【簡易書留郵便（速達可）にて必着】
文学部		
農学部		
獣医学部		
理学部	2025年12月10日（水）10:00	2025年12月17日（水） ～2025年12月22日（月） 【簡易書留郵便（速達可）にて必着】

（注）・出願書類は本学へ直接持参しても受理できません。

- ・出願書類は、インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、出願する学部・学域等に郵送提出期間内必着で郵送してください（郵送先：31 ページ参照）。
- ・郵送提出期間後に到着したものは、受理できませんので十分注意してください。ただし、下記の日付以前の発信局（日本国内）の消印のある「簡易書留速達郵便」に限り、期間後に到着した場合でも受理します。海外から送付する場合は、下記の日付以前に日本国内に到着したものに限り、期間後に到着した場合でも受理します。必ず追跡ができる方法で送付してください。

理学部以外：2025年10月7日（火） 理学部：2025年12月20日（土）

- ・郵便事情による不着については、原則考慮しませんので、余裕を持って出願してください。
- ・出願書類が本学に到着したかどうかに関する問合せについては、一切応じませんので各自郵便局等で確認してください。

2 出願方法

次の手順で出願を行ってください。



事前準備		
Step 1	パソコン等の動作環境	・インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。自宅にパソコン等がない場合は、学校・図書館・知人等のパソコン等から出願してください。
	印刷環境	・出願に必要な書類をA4サイズ白の用紙で印刷します。自宅にプリンターがない場合は、学校・図書館・知人・コンビニエンスストア等のプリンターから印刷してください（カラー印刷推奨）。
	メール設定	・出願登録時にお知らせメールを送信します。メール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあります。@sak-sak.net 及び@omu.ac.jp を受信可能なドメインとして設定してください。
	出願に必要な書類	・学部・学域等の16～25ページの「3 出願書類等」を確認の上、郵送提出期間内に間に合うようあらかじめ用意してください。
	封筒	・出願書類等郵送のために、市販の角形2号封筒（縦33.2cm×横24cm）を用意してください。

ポータルサイトにアクセス

Step 2

- ・出願登録開始日時以降に本学 Web サイトからポータルサイトへアクセスし、ユーザーID、パスワードを登録の上、インターネット出願登録を進めてください。
 - ※ポータルサイトのユーザーIDとしてメールアドレスが必要です。入学手続き完了時まで使用できるメールアドレスを登録してください。
- https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/inet-apply/



出願内容の登録

Step 3

- ・ポータルサイト内からインターネット出願サイトへ入り、「出願手順」、「Q&A」を必ず確認の上、出願登録を行ってください。
- ・出願登録完了後に登録内容の変更はできませんので、最終確認画面で登録した内容を必ず確認してください。

入学検定料等の支払い

Step 4

- ・インターネット出願サイトの指示に従って、次の(1)～(4)のいずれかの方法で、入学検定料(30,000円)をお支払いください。(12ページ「4 入学検定料等の支払方法」を参照)
- ・入学検定料の他に、支払手数料(990円)が必要となります。

(1)	(2)	(3)	(4)
クレジットカード	コンビニエンスストア	ATM (ペイジー)	ネットバンキング

出願確認票及び宛名ラベルの印刷

Step 5

- ・A4サイズ白の用紙に片面で印刷してください(カラー印刷推奨)。

出願書類の郵送

Step 6

- ・出願書類を簡易書留郵便(速達可)により郵送してください。(学部・学域等16～25ページの「3 出願書類等」を確認してください。)
- ・郵送提出期間内(10ページ「1 出願期間」)に出願書類が到着しなければ、出願は受理できませんので注意してください。

3 受験票・受験上の注意の印刷

出願手続きを完了した者には、インターネット出願サイト内にて受験票を発行します。受験票印刷開始日以降にポータルサイトへログインし、インターネット出願サイトよりA4サイズ白の用紙に各自で受験票を印刷し、内容を確認してください。また、受験票は試験当日に必ず持参してください。(受験票は郵送しません。)

受験票印刷開始日以降になっても受験票が印刷できない場合又は受験票の記載事項に誤りがある場合は、必ず31ページ「入試に関する事」の問合せ先に申し出てください。

学部・学域等における受験上の注意は、本学 Web サイトに掲載する予定です。受験にあたっては、受験上の注意を必ず印刷して内容を確認し、受験票とともに試験当日に持参してください。

学部・学域	受験票印刷開始日
現代システム科学域	2025年10月23日(木)
文学部	
農学部	
獣医学部	
理学部	2026年1月27日(火)

4 入学検定料等の支払方法

出願登録後に必要な料金は以下のとおりです。

- ・入学検定料 : 30,000 円
- ・支払手数料 : 990 円

支払方法は、以下の4種類が利用可能です。詳しい支払方法については、出願登録をする際に、インターネット出願サイト内の「お支払い方法選択」で選択した支払方法の画面で確認してください。

支払方法	取扱機関等
(1) クレジットカード	VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club (注) 支払方法は、一括払いのみです。
(2) コンビニエンスストア	セブンイレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、 デイリーヤマザキ、セイコーマート (注) 支払方法は、現金のみです。
(3) ATM (ペイジー)	Pay-easy マークの付いている金融機関の ATM で支払うことができます。 コンビニ窓口・コンビニの共用 ATM では使えません。
(4) ネットバンキング	主要メガバンクをはじめ、Pay-easy 対応の全国1,000行以上のネットバンキングをご利用いただけます。 (注) ご利用には、ネットバンキングの利用契約が必要です。

5 出願についての注意

(1) 文学部の個別学力検査「外国語」の選択について

出願登録時に「外国語」のうち英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語から1科目を選択してください。出願後の変更は認めません。

(2) 試験は、指定のキャンパス（9ページ）にて受験してください。

(3) 志願者情報の入力について

- ・氏名は、住民票又はパスポートに記載のとおり入力してください。
- ・住所は、郵便物の受領可能な住所を入力してください。合格者発表時点の住所が異なる場合は、31 ページ「入試に関すること」の問合せ先に申し出るか、郵便局に転居届を提出してください。

(4) 出願登録完了後は、出願登録内容を変更することはできません。また、出願受理後の出願取消しは、一切認めません。

(5) 出願確認票に記載されている「出願受付番号」は受験番号ではありません。

(6) 提出された出願書類は一切返却しません。ただし、提出された TOEFL のスコア証明書原本は返却します。

(7) 出願期間内に、出願登録、入学検定料等の支払い、出願書類の郵送（簡易書留郵便にて郵送提出期間内に必着）の全ての手続を行う必要があります。出願登録と入学検定料等の支払いを行っただけでは出願手続は完了しません。

(8) 出願書類に不備等があるものは受理できないことがあります。不備について、出願登録時に入力された電話番号やメールアドレスに連絡することがありますので、必ず連絡可能な連絡先を登録してください。なお、電話やメールの確認不足により不利益を被ったとしても本学は責任を負いません。

(9) 既納の入学検定料は次の事由以外では返還しません。

【返還可能な事由】

- ・入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
- ・出願書類が不備等により受理されなかった場合
- ・重複して入学検定料を払い込んだ場合

返還対象者には、出願期間終了後に返還方法等について入試課より連絡します。

6 受験上・修学上の配慮について

(1) 障がい等を理由とする受験上の配慮にかかる事前相談等

障がいがある等で、受験上の配慮を希望する者は事前相談の手続を行ってください。

ア 相談の方法

以下「ウ 申請先及び問合せ先」に連絡の上、本学所定の申請書（原則として医師の診断書等添付）を提出することとし、必要な場合は入学志願者・保護者又はその立場を代弁しうる出身学校関係者等との面談を行います。

イ 事前相談及び申請期間

インターネット出願登録開始日の1か月前まで

(注)上記期間以降においても可能な限り対応しますが、申請内容によっては、時間を要することがありますので、できるだけ早い時期に申し出てください。

ウ 申請先及び問合せ先

31 ページ「受験上の配慮に関すること」の問合せ先に連絡してください。

※メールには、受験上の配慮を希望する学部・学域等及び日中連絡がつく電話番号を明記の上、問い合わせてください。

(2) 障がい等を理由とする修学上の配慮や支援に関する相談等

修学上の合理的配慮は、入学後の申請に基づき決定します。したがって受験上の配慮内容が必ずしも修学上の合理的配慮として認められるものではありません。

ただし、受験前（出願前）も修学上の配慮や支援に関する相談はアクセシビリティセンターで受け付けますので、受験を検討するにあたり相談を希望する者は、31 ページ「修学上の配慮に関すること」の問合せ先に問い合わせてください。

※メールの場合は、アクセシビリティセンターへの相談内容、希望する学部・学域等（現時点の希望で可）を記載してお問い合わせください。

<アクセシビリティセンターWeb サイト>

<https://www.omu.ac.jp/campus-life/support/disabled/>



〔5〕 学部・学域等の選抜方法等

※帰国生徒特別選抜の詳細については、学部・学域、学科・学類により異なりますので志望する学部・学域等のページ（16～25 ページ）を参照してください。

現代システム科学域

1 募集人員（現代システム科学域は、学域単位で募集します。）

募 集 人 員
若干名

- (注)・個別学力検査等の成績により、合格者を出さない場合があります。
- ・募集人員「若干名」は「一般選抜（前期日程）」の募集人員に含みます。
 - ・学域単位入学生の学類の決定は第1年次の3月末までに行います。なお、志望者多数の学類では、学類定員を基準として、選抜を実施します。そのため、志望する学類に進めない場合があります。
 - ・未来デザインコース（FDC）は、第1年次の3月末までに履修者を決定しますが、志望者が15名を超える場合は、第1年次の3月末までの成績と、コースでの学習計画を示す提出書類（未来デザイン計画）により選考を実施します。そのため、志望してもこのコースを履修できない場合があります。

2 出願資格・出願要件等

出願できるのは、日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、海外に在留の結果、次の各号のいずれかに該当するものに限りです。

- (1) 外国において、学校教育における12年の課程を2024年4月1日以降に修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者。上記12年の課程には、日本における通常の課程による学校教育の期間も含まれますが、外国において最終学年を含めて2年以上継続して学校教育を受けていることを必要とします。ただし、外国において設置されたものであっても日本の学校教育法（昭和22年法律第26号）に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなしません。
- (2) 外国において、次の資格を2024年4月1日以降に授与された者及び2026年3月31日までに授与される見込みの者
 - ① スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格
 - ② ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
 - ③ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格

※志願者は「TOEFL」を受験し、TOEFL iBT 61点以上を満たす必要があります。

出願時までには必ず、(注)に記載の有効なスコア証明書を取り寄せてください。有効なスコア証明書がなければ、出願できません。

- (注) 出願時までには必ず、「Test Taker Score Report」(ETS発行)を取り寄せてください。2024年4月1日以降の受験であれば有効です。Test Date スコアのみを出願スコアとして活用します。(MyBest ™スコアは活用しません。) また、「Special Home Edition」での受験によるスコアは認めません。

3 出願書類等 (*) が付いた本学所定の様式は、以下の本学 Web サイトからダウンロードしてください。

出願関係書類一覧 ▶▶ https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/doc/	
--	---

書 類 種 別	注 意 事 項
(1) 出願確認票 (大学提出用)	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトからA4サイズ白の用紙に印刷してください (カラー印刷推奨)。
(2) 写真票 (*)	本学所定の様式に必要な事項を記入し、写真 (縦4cm×横3cm。上半身無帽正面で、出願日より3か月以内に撮影したもの) を貼ってください。写真の裏に学域、氏名を記入してください。
(3) 出願資格を証明する書類	出願資格・出願要件等 (1) に該当する者 ・最終出身学校の卒業 (修了) 又は卒業 (修了) 見込証明書 ・最終出身学校の成績証明書 出願資格・出願要件等 (2) に該当する者 ・国際バカロレア事務局が授与する資格証書 (International Baccalaureate Diploma) の写し及び国際バカロレア最終試験6科目の成績証明書 ・アビトゥア資格の一般的大学入学資格証明書 (Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife) の写し ・フランス共和国が授与するバカロレア資格証書 (Diplôme du Baccalauréat de l'Enseignement du Second Degré) の写し及びバカロレア資格試験成績証明書
(4) 国籍を証明する書類	住民票 (市区町村長発行のもの、写しは不可) 又はパスポート (氏名、国籍、顔写真が分かるページ) の写しを提出してください。
(5) 履歴書 (*)	本学所定の様式により、志願者本人がパソコン等で作成してください。
(6) 志望理由書 (*)	本学所定の様式により、志願者本人がパソコン等で日本語で作成してください。 <u>現代社会の諸問題に対する関心を含めて記載してください。なお、現代社会の諸問題に対する関心について書かれていない場合は、合否判定の対象となりません。</u>

(7) TOEFL iBT のスコア証明書	2024年4月1日以降に受験した ETS 発行「Test Taker Score Report」の原本
(8) スコア証明書返却用レターパック	スコア証明書の原本は返却します。レターパックプラス（赤色、600 円）にお届け先の郵便番号、住所、氏名を記入し、2つ折りにして出願書類に同封してください。
(9) 宛名ラベル	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A4 サイズ白の用紙に印刷の上、市販の角形 2 号封筒（縦 33.2 cm × 横 24 cm）に貼り付けてください（カラー印刷推奨）。

- (注) ・出願資格を証明する書類は、写しと表記のあるものを除き、原本を提出してください。
- ・出願資格を証明する書類が和文又は英文以外の場合、日本語又は英語に翻訳し、その内容が原本と相違ないことを証明する公的機関（出身校、日本語学校、公証役場、大使館等）の書類と一緒に提出してください。
 - ・日本の高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）に在学したことがある場合は、当該学校長が作成した調査書（交付を受けられない者は、それにかわる在籍証明書等）を併せて提出してください。
 - ・住民票は日本国籍の場合、本籍地が記載されたものを、日本国籍以外の場合は、国籍、在留資格及び在留期間が記載されたものを提出してください。

4 選抜方法

小論文、口述試験、志望理由書に基づく面接を総合して判定します。

5 個別学力検査等

個別学力検査等	配点
小論文（注1）	100
口述試験・面接（注2）	100
配点合計	200

- (注1) 小論文は、日本語の文章や資料による出題に基づき、理解力、思考力、表現力を問います。
- (注2) 口述試験では、主に数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C）について問います。
 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Aは全範囲からの出題とします。
 数学Bは「数列」を出題範囲とします。
 数学Cは「ベクトル」を出題範囲とします。

6 選抜期日

2025年11月22日（土） ※合格者発表日時、入学手続については26～27ページを参照してください。

文学部

1 募集人員（文学部は、学部単位で募集します。）

募 集 人 員
5 名

- (注)・総合判定の結果により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。その欠員数は、一般選抜（前期日程）の募集人員に加ええます。
- ・哲学歴史学科（3コース）・人間行動学科（4コース）・言語文化学科（5コース）・文化構想学科（3コース）の4学科（15コース）があります。
 - ・学科・コースの決定は第1年次の1月までに行います。決定に際して、志望者多数の学科・コースでは、学科定員と標準所属者数を基準として、選抜を実施します。そのため、志望する学科・コースに進めない場合があります。また、社会調査士、認定心理士の資格は、指定するコースに所属する等の条件があります。

2 出願資格・出願要件等

出願できるのは、日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、海外に在留の結果、次の各号のいずれかに該当するものに限りです。

- (1) 外国において、学校教育における12年の課程を2024年4月1日以降に修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者。上記12年の課程には、日本における通常の課程による学校教育の期間も含まれますが、外国において最終学年を含めて3年以上継続して学校教育を受けていることを必要とします。ただし、外国において設置されたものであっても日本の学校教育法（昭和22年法律第26号）に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなしません。
- (2) 外国において上記(1)と同等以上の学力があると認められる大学入学資格を有する者で2026年3月31日までに18歳に達するもの（2008年4月1日以前に生まれた者）
- (3) 外国において、次の資格を2024年4月1日以降に授与された者及び2026年3月31日までに授与される見込みの者
 - ① ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
 - ② フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格

3 出願書類等（*）が付いた本学所定の様式は、以下の本学Webサイトからダウンロードしてください。

出願関係書類一覧 ▶▶▶ https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/doc/	
---	--

書 類 種 別	注 意 事 項
(1) 出願確認票（大学提出用）	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトからA4サイズ白の用紙に印刷してください（カラー印刷推奨）。
(2) 写真票（*）	本学所定の様式に必要な事項を記入し、写真（縦4cm×横3cm。上半身無帽正面で、出願日より3か月以内に撮影したもの）を貼ってください。写真の裏に学部、氏名を記入してください。
(3) 出願資格を証明する書類	出願資格・出願要件等（1）に該当する者 ・最終出身学校の卒業（修了）又は卒業（修了）見込証明書 ・最終出身学校の成績証明書 出願資格・出願要件等（2）に該当する者 ・大学入学資格の認定を立証できる証明書の写し 出願資格・出願要件等（3）に該当する者 ・アビトゥア資格の一般的大学入学資格証明書 （Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife）の写し ・フランス共和国が授与するバカロレア資格証書 （Diplôme du Baccalauréat de l'Enseignement du Second Degré）の写し及びバカロレア資格試験成績証明書
(4) 国籍を証明する書類	住民票（市区町村長発行のもの、写しは不可）又はパスポート（氏名、国籍、顔写真が分かるページ）の写しを提出してください。
(5) 履歴書（*）	本学所定の様式により、志願者本人がパソコン等で作成してください。
(6) 志望理由書（*）	本学所定の様式により、日本語で志願者本人がパソコン等で作成してください（A4サイズ白の用紙片面印刷、800字以内）。
(7) 宛名ラベル	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトからA4サイズ白の用紙に印刷の上、市販の角形2号封筒（縦33.2cm×横24cm）に貼り付けてください（カラー印刷推奨）。

- (注)・出願資格を証明する書類は、写しと表記のあるものを除き、原本を提出してください。
- ・出願資格を証明する書類が和文又は英文以外の場合、日本語又は英語に翻訳し、その内容が原本と相違ないことを証明する公的機関（出身校、日本語学校、公証役場、大使館等）の書類と一緒に提出してください。
 - ・日本の高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）に在学したことがある場合は、当該学校長が作成した調査書（交付を受けられない者は、それにかわる在籍証明書等）を併せて提出してください。

- ・住民票は日本国籍の場合、本籍地が記載されたものを、日本国籍以外の場合は、国籍、在留資格及び在留期間が記載されたものを提出してください。

4 選抜方法

個別学力検査（外国語）、小論文、口述試験、出願書類を総合して判定します。

5 個別学力検査等

教 科	科 目 名	配 点
外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国・朝鮮語」から1科目選択	150
その他	小論文	150
	口述試験	100
配点合計		400

6 選抜期日

2025年11月8日（土） ※合格者発表日時、入学手続については26～27ページを参照してください。

理学部

1 募集人員（理学部は、学科単位で募集します。）

学 科	募 集 人 員
数学科	若干名
物理学科	若干名
化学科	若干名
生物学科	若干名
地球学科	若干名
生物化学科	若干名

(注)・個別学力検査等の成績により、合格者を出さない場合があります。
 ・募集人員「若干名」は「一般選抜（前期日程）」の募集人員に含みます。

2 出願資格・出願要件等

出願できるのは、日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、海外に在留の結果、次の各号のいずれかに該当するものに限りです。

- (1) 外国において、学校教育における 12 年の課程を 2024 年 4 月 1 日以降に修了した者及び 2026 年 3 月 31 日までに修了見込みの者。上記 12 年の課程には、日本における通常の課程による学校教育の期間も含まれますが、外国において最終学年を含めて 2 年以上継続して学校教育を受けていることを必要とします。ただし、外国において設置されたものであっても日本の学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなしません。
- (2) 外国において、次の資格を 2024 年 4 月 1 日以降に授与された者及び 2026 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
 - ① スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格
 - ② ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
 - ③ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格

3 出願書類等（*）が付いた本学所定の様式は、以下の本学 Web サイトからダウンロードしてください。

出願関係書類一覧 ▶▶ https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/doc/	
--	--

書 類 種 別	注 意 事 項
(1) 出願確認票（大学提出用）	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A 4 サイズ白の用紙に印刷してください（カラー印刷推奨）。
(2) 写真票（*）	本学所定の様式に必要事項を記入し、写真（縦 4 cm×横 3 cm。上半身無帽正面で、出願日より 3 か月以内に撮影したもの）を貼ってください。写真の裏に学部・学科、氏名を記入してください。
(3) 出願資格を証明する書類	出願資格・出願要件等（1）に該当する者 ・最終出身学校の卒業（修了）又は卒業（修了）見込証明書 ・最終出身学校の成績証明書
	出願資格・出願要件等（2）に該当する者 ・国際バカロレア事務局が授与する資格証書（International Baccalaureate Diploma）の写し及び国際バカロレア最終試験 6 科目の成績証明書 ・アビトゥア資格の一般的大学入学資格証明書（Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife）の写し ・フランス共和国が授与するバカロレア資格証書（Diplôme du Baccalauréat de l'Enseignement du Second Degré）の写し及びバカロレア資格試験成績証明書
(4) 国籍を証明する書類	住民票（市区町村長発行のもの、写しは不可）又はパスポート（氏名、国籍、顔写真が分かるページ）の写しを提出してください。
(5) 履歴書（*）	本学所定の様式により、志願者本人がパソコン等で作成してください。
(6) 宛名ラベル	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A 4 サイズ白の用紙に印刷の上、市販の角形 2 号封筒（縦 33.2 cm×横 24 cm）に貼り付けてください（カラー印刷推奨）。

(注)・出願資格を証明する書類は、写しと表記のあるものを除き、原本を提出してください。
 ・出願資格を証明する書類が和文又は英文以外の場合、日本語又は英語に翻訳し、その内容が原本と相違ないことを証明する公的機関（出身校、日本語学校、公証役場、大使館等）の書類を一緒に提出してください。
 ・日本の高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）に在学したことがある場合は、当該学校長が作成した調査書（交付を受けられない者は、それにかわる在籍証明書等）を併せて提出してください。
 ・住民票は日本国籍の場合、本籍地が記載されたものを、日本国籍以外の場合は、国籍、在留資格及び在留期間が記載されたものを提出してください。

4 選抜方法

個別学力検査（数学、理科、外国語）、口述試験、出願書類を総合して判定します。

5 個別学力検査等

数学科/生物学科/地球学科/生物化学科

教 科	科 目 名	配 点
数学	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」（注1）	100
理科	「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」から2科目選択（注2）	100
外国語	「英語」（注3）	100
その他	口述試験（注4）	100
配点合計		400

（注1）数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲からの出題とします。

数学Bは「数列」を出題範囲とします。

数学Cは「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

（注2）「物理基礎・物理」は物理基礎及び物理の全範囲からの出題とします。

「化学基礎・化学」は化学基礎及び化学の全範囲からの出題とします。

「生物基礎・生物」は生物基礎及び生物の全範囲からの出題とします。

「地学基礎・地学」は地学基礎及び地学の全範囲からの出題とします。

「2科目」を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

（注3）英語は「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」を出題範囲とします。なお、個別学力検査においてリスニングは課しません。

（注4）口述試験は、学習意欲、学習能力等を問います。

物理学科

教 科	科 目 名	配 点
数学	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」（注1）	100
理科	「物理基礎・物理」と「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」から1科目選択計2科目（注2）	100
外国語	「英語」（注3）	100
その他	口述試験（注4）	100
配点合計		400

（注1）数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲からの出題とします。

数学Bは「数列」を出題範囲とします。

数学Cは「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

（注2）「物理基礎・物理」は物理基礎及び物理の全範囲からの出題とします。

「化学基礎・化学」は化学基礎及び化学の全範囲からの出題とします。

「生物基礎・生物」は生物基礎及び生物の全範囲からの出題とします。

「地学基礎・地学」は地学基礎及び地学の全範囲からの出題とします。

「2科目」を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

（注3）英語は「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」を出題範囲とします。なお、個別学力検査においてリスニングは課しません。

（注4）口述試験は、学習意欲、学習能力等を問います。

化学科

教 科	科 目 名	配 点
数学	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」（注1）	100
理科	「物理基礎・物理」と「化学基礎・化学」計2科目（注2）	100
外国語	「英語」（注3）	100
その他	口述試験（注4）	100
配点合計		400

（注1）数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲からの出題とします。

数学Bは「数列」を出題範囲とします。

数学Cは「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

（注2）「物理基礎・物理」は物理基礎及び物理の全範囲からの出題とします。

「化学基礎・化学」は化学基礎及び化学の全範囲からの出題とします。

「2科目」を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

（注3）英語は「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」を出題範囲とします。なお、個別学力検査においてリスニングは課しません。

（注4）口述試験は、学習意欲、学習能力等を問います。

6 選抜期日

2026年2月25日（水）・26日（木） ※合格者発表日時、入学手続については26～27ページを参照してください。

農学部

1 募集人員（農学部は、学科単位で募集します。）

学 科	募 集 人 員
応用生物科学科	若干名
生命機能化学科	若干名
緑地環境科学科	若干名

(注)・個別学力検査等の成績により、合格者を出さない場合があります。
 ・募集人員「若干名」は「一般選抜（前期日程）」の募集人員に含みます。

2 出願資格・出願要件等

出願できるのは、日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、海外に在留の結果、次の各号のいずれかに該当するものに限りま。

- (1) 外国において、学校教育における 12 年の課程を 2024 年 4 月 1 日以降に修了した者及び 2026 年 3 月 31 日までに修了見込みの者。上記 12 年の課程には、日本における通常の課程による学校教育の期間も含まれますが、外国において最終学年を含めて 2 年以上継続して学校教育を受けていることを必要とします。ただし、外国において設置されたものであっても日本の学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなしません。
- (2) 外国において、次の資格を 2024 年 4 月 1 日以降に授与された者及び 2026 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
 - ① スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格
 - ② ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
 - ③ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格

※志願者は「TOEFL」を受験し、利用教科・科目名欄に記載の学科が定める以上の成績を満たす必要があります。出願時までに必ず、(注)に記載の有効なスコア証明書を取り寄せてください。有効なスコア証明書がなければ、出願できません。

- (注)・2024 年 4 月 1 日以降に受験した ETS 発行「Test Taker Score Report」の原本。写しや Web からダウンロードされたスコア証明書は認めません。原本は、確認後返却します。
- ・Test Date スコアのみを出願スコアとして活用し、MyBest ™スコアは活用しません。
 - ・「Special Home Edition」での受験によるスコアは認めません。

3 出願書類等（*）が付いた本学所定の様式は、以下の本学 Web サイトからダウンロードしてください。

出願関係書類一覧 ▶▶ https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/doc/	
--	---

書 類 種 別	注 意 事 項
(1) 出願確認票（大学提出用）	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A4 サイズ白の用紙に印刷してください（カラー印刷推奨）。
(2) 写真票（*）	本学所定の様式に必要事項を記入し、写真（縦 4 cm×横 3 cm。上半身無帽正面で、出願日より 3 か月以内に撮影したもの）を貼ってください。写真の裏に学部・学科、氏名を記入してください。
(3) 出願資格を証明する書類	出願資格・出願要件等 (1) に該当する者 ・最終出身学校の卒業（修了）又は卒業（修了）見込証明書 ・最終出身学校の成績証明書 出願資格・出願要件等 (2) に該当する者 ・国際バカロレア事務局が授与する資格証書（International Baccalaureate Diploma）の写し及び国際バカロレア最終試験 6 科目の成績証明書 ・アビトゥア資格の一般的大学入学資格証明書（Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife）の写し ・フランス共和国が授与するバカロレア資格証書（Diplôme du Baccalauréat de l'Enseignement du Second Degré）の写し及びバカロレア資格試験成績証明書
(4) 国籍を証明する書類	住民票（市区町村長発行のもの、写しは不可）又はパスポート（氏名、国籍、顔写真が分かるページ）の写しを提出してください。
(5) 履歴書（*）	本学所定の様式により、志願者本人がパソコン等で作成してください。
(6) TOEFL iBT のスコア証明書	2024 年 4 月 1 日以降に受験した ETS 発行「Test Taker Score Report」の原本
(7) スコア証明書返却用レターバック	スコア証明書の原本は返却します。レターバックプラス（赤色、600 円）にお届け先の郵便番号、住所、氏名を記入し、2 つ折りにして出願書類に同封してください。

(8) 宛名ラベル	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトからA4サイズ白の用紙に印刷の上、市販の角形2号封筒（縦33.2cm×横24cm）に貼り付けてください（カラー印刷推奨）。
-----------	--

- (注)・出願資格を証明する書類は、写しと表記のあるものを除き、原本を提出してください。
- ・出願資格を証明する書類が和文又は英文以外の場合、日本語又は英語に翻訳し、その内容が原本と相違ないことを証明する公的機関（出身校、日本語学校、公証役場、大使館等）の書類と一緒に提出してください。
 - ・日本の高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）に在学したことがある場合は、当該学校長が作成した調査書（交付を受けられない者は、それにかわる在籍証明書等）を併せて提出してください。
 - ・住民票は日本国籍の場合は、本籍地が記載されたものを、日本国籍以外の場合は、国籍、在留資格及び在留期間が記載されたものを提出してください。

4 選抜方法

個別学力検査（数学）、小論文、口述試験・面接等、出願書類、TOEFL を総合して判定します。

5 個別学力検査等

応用生物科学科/生命機能化学科

教科	科目名	配点
数学	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」（注1）	100
その他	小論文	100
	口述試験・面接	100
	出願書類（注2）	◎
	TOEFL（注2）（注3）	◎
配点合計		300

(注1) 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲からの出題とします。

数学Bは「数列」を出題範囲とします。

数学Cは「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

(注2) 出願書類、TOEFLは、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき「合」「否」で判定します。

(注3) 応用生物科学科：iBT 71点以上

生命機能化学科：出願に必要な成績要件はありません。

緑地環境科学科

教科	科目名	配点
数学	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」（注1）	100
その他	小論文	100
	面接	100
	出願書類（注2）	◎
	TOEFL（注2）（注3）	◎
配点合計		300

(注1) 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲からの出題とします。

数学Bは「数列」を出題範囲とします。

数学Cは「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

(注2) 出願書類、TOEFLは、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき「合」「否」で判定します。

(注3) iBT 61点以上

6 選抜期日

2025年11月22日（土） ※合格者発表日時、入学手続については26～27ページを参照してください。

獣医学部

1 募集人員（獣医学部は、学部単位で募集します。）

募 集 人 員
若干名

(注)・個別学力検査等の成績により、合格者を出さない場合があります。
 ・募集人員「若干名」は「一般選抜（前期日程）」の募集人員に含みます。

2 出願資格・出願要件等

出願できるのは、日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、海外に在留の結果、次の各号のいずれかに該当するものに限りです。

- (1) 外国において、学校教育における12年の課程を2024年4月1日以降に修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者。上記12年の課程には、日本における通常の課程による学校教育の期間も含まれますが、外国において最終学年を含めて2年以上継続して学校教育を受けていることを必要とします。ただし、外国において設置されたものであっても日本の学校教育法（昭和22年法律第26号）に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなしません。
- (2) 外国において、次の資格を2024年4月1日以降に授与された者及び2026年3月31日までに授与される見込みの者
 - ① スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格
 - ② ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
 - ③ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格

※志願者は「TOEFL」を受験し、TOEFL iBT 61点以上を満たす必要があります。出願時までには必ず有効なスコア証明書（注）を取り寄せてください。有効なスコア証明書がなければ、出願できません。

- (注)・2024年4月1日以降に受験したETS発行「Test Taker Score Report」の原本。写しやWebからダウンロードされたスコア証明書は認めません。原本は、確認後返却します。
- ・Test Date スコアのみを出願スコアとして活用し、MyBest ™スコアは活用しません。
 - ・「Special Home Edition」での受験によるスコアは認めません。

3 出願書類等（*）が付いた本学所定の様式は、以下の本学Webサイトからダウンロードしてください。

出願関係書類一覧 ▶▶▶ https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/doc/	
---	--

書 類 種 別	注 意 事 項
(1) 出願確認票（大学提出用）	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトからA4サイズ白の用紙に印刷してください（カラー印刷推奨）。
(2) 写真票（*）	本学所定の様式に必要な事項を記入し、写真（縦4cm×横3cm。上半身無帽正面で、出願日より3か月以内に撮影したもの）を貼ってください。写真の裏に学部、氏名を記入してください。
(3) 出願資格を証明する書類	出願資格・出願要件等（1）に該当する者 ・最終出身学校の卒業（修了）又は卒業（修了）見込証明書 ・最終出身学校の成績証明書 出願資格・出願要件等（2）に該当する者 ・国際バカロレア事務局が授与する資格証書（International Baccalaureate Diploma）の写し及び国際バカロレア最終試験6科目の成績証明書 ・アビトゥア資格の一般的大学入学資格証明書（Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife）の写し ・フランス共和国が授与するバカロレア資格証書（Diplôme du Baccalauréat de l'Enseignement du Second Degré）の写し及びバカロレア資格試験成績証明書
(4) 国籍を証明する書類	住民票（市区町村長発行のもの、写しは不可）又はパスポート（氏名、国籍、顔写真が分かるページ）の写しを提出してください。
(5) 履歴書（*）	本学所定の様式により、志願者本人がパソコン等で作成してください。
(6) TOEFL iBT のスコア証明書	2024年4月1日以降に受験したETS発行「Test Taker Score Report」の原本
(7) スコア証明書返却用レターバック	スコア証明書の原本は返却します。レターバックプラス（赤色、600円）にお届け先の郵便番号、住所、氏名を記入し、2つ折りにして出願書類に同封してください。
(8) 宛名ラベル	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトからA4サイズ白の用紙に印刷の上、市販の角形2号封筒（縦33.2cm×横24cm）に貼り付けてください（カラー印刷推奨）。

(注)・出願資格を証明する書類は、写しと表記のあるものを除き、原本を提出してください。

- ・出願資格を証明する書類が和文又は英文以外の場合、日本語又は英語に翻訳し、その内容が原本と相違ないことを証明する公的機関（出身校、日本語学校、公証役場、大使館等）の書類を一緒に提出してください。
- ・日本の高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）に在学したことがある場合は、当該学校長が作成した調査書（交付を受けられない者は、それにかわる在籍証明書等）を併せて提出してください。
- ・住民票は日本国籍の場合は、本籍地が記載されたものを、日本国籍以外の場合は、国籍、在留資格及び在留期間が記載されたものを提出してください。

4 選抜方法

個別学力検査（数学）、小論文、面接、出願書類、TOEFL を総合して判定します。

5 個別学力検査等

教 科	科 目 名	配 点
数学	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」（注1）	150
その他	小論文	100
	面接（注2）	100
	TOEFL（注3）	120
配点合計		470

（注1）数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲からの出題とします。

数学Bは「数列」を出題範囲とします。

数学Cは「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

（注2）面接は 100 点の配点を設けるとともに、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき「合」「否」でも判定します。面接の結果により、獣医学を修学する上での適性に欠けると判断された場合は合計点にかかわらず不合格とします。

（注3）iBT 61 点以上

6 選抜期日

2025 年 11 月 22 日（土） ※合格者発表日時、入学手続については 26～27 ページを参照してください。

〔6〕 合格者発表

1 合格者発表について

合格者の受験番号を、以下のとおり本学 Web サイトに掲載します。

大阪公立大学 合格者発表 ▶▶ https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/pass/	
--	---

学部・学域	発表日時	Web サイト掲載期間
現代システム科学域	2025 年 12 月 5 日 (金) 10:00	2025 年 12 月 5 日 (金) 10:00 ～2025 年 12 月 11 日 (木) 17:00
文学部		
農学部		
獣医学部		
理学部	2026 年 3 月 9 日 (月) 10:00	2026 年 3 月 9 日 (月) 10:00 ～2026 年 3 月 15 日 (日) 17:00

(注) 電話等による可否の問合せには一切応じません。

2 合格通知書及び入学手続案内

- (1) 合格者には合格通知書及び入学手続案内を郵送します。なお、不合格者への通知は行いません。
- (2) 合格者発表にて合格を確認したが、合格通知書及び入学手続案内が下記日時までに到着しなかった場合は、31 ページ「入学手続に関すること」の問合せ先に申し出てください。郵便の不着又は遅配を理由とした、入学手続期間以降の入学手続は一切認めません。

現代システム科学域	2025 年 12 月 15 日 (月) 12:00 まで
文学部	2025 年 12 月 15 日 (月) 12:00 まで
農学部	2025 年 12 月 15 日 (月) 12:00 まで
獣医学部	2025 年 12 月 15 日 (月) 12:00 まで
理学部	2026 年 3 月 13 日 (金) 12:00 まで

〔7〕 入学手続

1 入学手続について

入学手続案内の説明に従って、下表の期間にポータルサイトより手続してください。詳細については、別途合格者に案内します。

学部・学域	入学手続サイト登録期間
現代システム科学域	2025 年 12 月 12 日 (金) 11:00～2025 年 12 月 16 日 (火) 12:00
文学部	
農学部	
獣医学部	
理学部	2026 年 3 月 9 日 (月) 11:00～2026 年 3 月 15 日 (日) 12:00

(注) ・システム登録時に、入学料の納付が必要となります。支払方法に応じて支払手数料がかかります。詳細は 27 ページの入学料を確認してください。

- ・入学手続期間内に入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものとして取り扱います。
- ・入学手続を完了した者で、やむを得ない特別な事情により入学を辞退する者は、入学手続サイトで入学辞退登録をした上で、2026 年 3 月 31 日 (火) 12:00 までに電話連絡をしてください。

2 入学許可の取消し

- (1) 出願時に虚偽の登録をした場合、又は入学試験において不正行為を行ったことが判明した場合は、入学手続完了後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- (2) 高等学校等の課程を卒業（修了）できない場合又は取得予定の資格が取得できない場合は、入学手続完了後であっても入学許可を取り消します。

〔8〕 学費（入学料・授業料等）

学費（入学料・授業料等）については、現時点での予定は次のとおりですが、いずれも改定される場合があります。入学手続案内に詳細を記載しますので、必ず確認してください。各問合せ先については、31ページを参照してください。

（注）既納の納付金は還付しません。

1 入学料 「大阪府民及びその子」282,000円 「その他の者」382,000円

「大阪府民及びその子」は、次の対象者が所定の手続を行い認定された場合に適用されます。

対象者：入学者本人又は入学者本人と同一戸籍にある父母のいずれかが、入学日の1年以上前（2026年4月入学者の場合、2025年4月1日以前）から引き続き大阪府内に住民票がある者。日本国籍を有しない者も同一の要件です。

必要書類：住民票（対象者全員）、戸籍全部事項証明書（必要者のみ）などの公的書類

※入学手続サイト登録期間の1か月以内に交付を受けてください。

詳細は入学手続案内に記載します。

- ・入学料は、入学手続時に納付してください。
- ・入学料の他に、支払手数料が必要となります。

支払方法は、下記の3種類が利用可能です。詳しい支払方法については、入学手続サイト内で選択した支払方法の画面で確認してください。

支払方法・支払手数料	取扱機関等
(1) クレジットカード ・大阪府民及びその子 6,500円 ・その他の者 8,500円	VISA、MasterCard、JCB、 AMERICAN EXPRESS、Diners Club (注) 支払方法は、一括払いのみです。
(2) ATM（ペイジー） 1,250円	Pay-easy マークの付いている金融機関のATMで支払うことができます。コンビニ窓口・コンビニの共用ATMでは使えません。
(3) ネットバンキング 1,250円	主要メガバンクをはじめ、Pay-easy 対応の全国1,000行以上のネットバンキングをご利用いただけます。 (注) ご利用には、ネットバンキングの利用契約が必要です。

（注）支払方法(2)(3)については、各金融機関の利用手数料等が別途必要となる場合がありますので、事前に各金融機関のWebサイト等でご確認ください。

- ・入学料決済後は、いかなる理由があっても入学料を返還しません。
- ・本学では入学料の納付時期の猶予は行いません。「高等教育の修学支援新制度」「大阪公立大学等授業料等支援制度」に申請予定の場合でも、必ず入学料を納付してください。
入学後、本制度による支援の対象者には、免除の割合に応じて入学料の還付を行います。

2 授業料 [年額] 535,800円（入学後に納付）

- ・授業料等は年額の1/2を半期毎（前期・後期）に、ご登録いただく口座からの引落により納付していただきます。
- ・口座引落日は前期：5月27日、後期：10月27日です。引落日が金融機関の休日等にあたる場合は、その翌営業日を引落日とします。
- ・在学中に授業料等の改定が行われた場合は、改定後の金額が適用されることがあります。
- ・授業料減免申請者は、当該年度の授業料等金額及び引落日が異なることがあります。

3 その他

- (1) 各種団体等に加入していただくために別途費用が必要です。
- (2) キャンパス間の移動に要する経費（交通費等）が必要になる場合があります。
- (3) 獣医学部における負担金

実験機器充実負担金及び実習充実負担金〔年額〕185,000円（入学後に納付）

（注）2年次以降もこれらの費用が必要です。

- (4) 一部の学部・学域・学科等では、実習費等が必要となります。金額等の詳細は、各学部・学域のオリエンテーション等でお知らせします。
- (5) 個人ノートパソコンの準備（必携）

授業の履修登録や成績の閲覧、その他各種連絡事項のやり取りに加え、授業についてもシステムの使用を前提とし、極力電子ファイルを用いた資料配付、課題提出を行うなど、パソコンを活用した教育・研究を進めております。新入生の皆さんは、授業が始まるまでにノートパソコンの準備をお願いします。ノートパソコンの必要スペックは、本学のWebサイトで公開しています。

※2026年度入学者向けの必要スペックについては、2026年2月上旬に掲載予定です。

<https://www.omu.ac.jp/campus-life/course/academic-calendar/index.html#pc>



〔9〕 経済支援制度について

本学には、授業料減免制度や奨学金などの学生が利用できる経済支援制度があります。各種制度に関する詳細や申請方法については、本学Webサイトに掲載しています。

<大阪公立大学 経済支援制度>

https://www.omu.ac.jp/campus-life/tuition/financial_aid/



〔10〕 個人情報の取扱いについて

大阪公立大学では、個人情報の保護に関する法律及び公立大学法人大阪における個人情報の取扱い及び管理に関する規程に基づき、情報の収集は最小限に努めるとともに、その情報については法令等に沿い、適切な利用、管理をいたします。

1 個人情報の定義

本学が入学選抜に用いた、氏名、住所、電話番号、受験番号、メールアドレス、生年月日、成績、配慮を行う上での健康情報、その他の当該個人を識別できるもの（当該情報のみでは識別できないが、他の情報と容易に照合することができ、それにより当該個人を識別できるものを含む）を指します。

2 個人情報の利用

- (1) 入学選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学選抜、入学手続のほか、追跡調査等入試の改善に関する調査・研究、志望動向の調査・分析、入学後の学生生活支援関係業務（奨学金・授業料関係、学生生活相談、健康管理）、並びに教育改善等のFD^{※1}活動、大学運営改善等に向けたIR^{※2}に利用します。（入学者については、入学後の個人情報と併せて分析することを含みます。）
- (2) 本学における学術研究目的で利用します。ただし、個人が特定される形でその成果を公表することはありません。
- (3) データの電子化、電算処理、分析・統計、印刷、製本等を外部に委託する場合があります。本学から業務委託を受けた業者に個人情報の全部又は一部を提供する場合には、個人情報の保護に関する法律の趣旨に則った保護管理の事項を明記の上、契約します。

※1 FD: Faculty Development の略、教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組例) 授業方法についての研究会や新任教員のための研修会等

※2 IR: Institutional Research の略、大学の経営改善や学生支援、教育の質向上のため、学内データを収集・分析し、改善施策を立案、施策の実行・検証を行う活動

[11] その他

1 個人別成績の情報提供について

2026 年度帰国生徒特別選抜の個人別成績について、以下のとおり提供します。

(1) 提供内容

個別学力検査等の科目別得点（配点公表分のみ）

(2) 提供期間

2026 年 5 月 8 日（金）10:00 から 2026 年 6 月 5 日（金）15:00 まで

(3) 提供対象者

受験者本人に限ります。

(4) 提供方法

下記 URL よりポータルサイトにログインし、確認してください。

成績開示 ▶▶▶

https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/score/



2 過去問題について

過去の入試問題の詳細については、以下の本学 Web サイトに掲載しています。

特別選抜 過去問題 ▶▶▶

https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/past-eq/



3 注意事項

大規模な自然災害・電車の遅延等により、入学試験が予定どおり実施できない場合、以下の本学 Web サイトに情報を掲載しますので、確認してください。

大阪公立大学 緊急のお知らせ ▶▶▶

<https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/>



試験会場交通アクセス

■ 杉本キャンパス

〒558-8585 大阪府大阪市住吉区杉本3丁目3番 138号



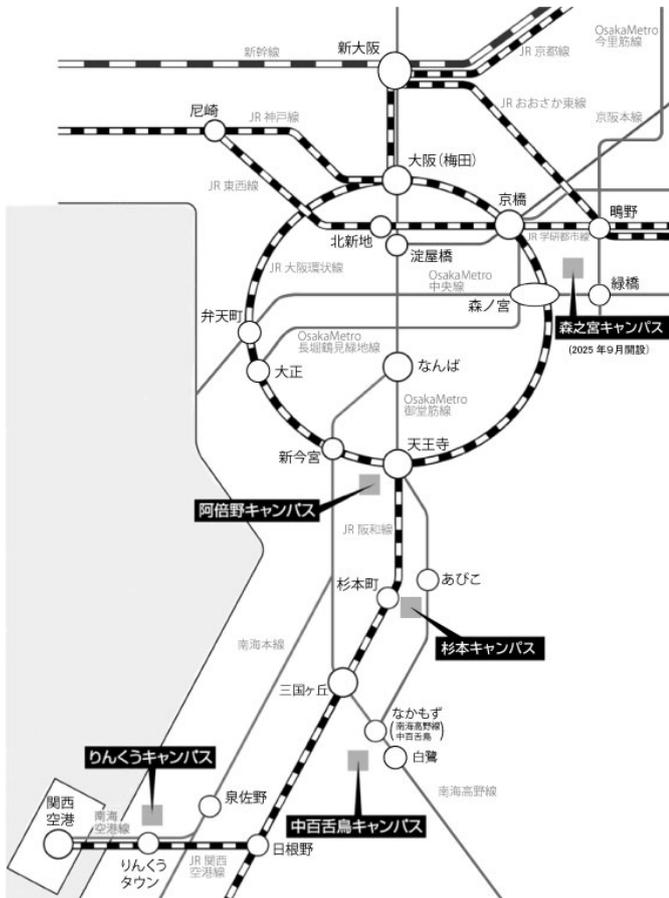
- ・ JR 阪和線「杉本町駅」下車、東口からすぐ
- ・ Osaka Metro 御堂筋線「あびこ駅」下車、4号出口から南西へ徒歩約15分

■ 中百舌鳥キャンパス

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号



- ・ 南海高野線「白鷺駅」下車、南西へ徒歩約7分
- ・ 南海高野線「中百舌鳥駅」下車、南東へ徒歩約13分
- ・ Osaka Metro 御堂筋線「なかもず駅」下車、5号出口から南東へ徒歩約13分



■ 森之宮キャンパス (2025年9月開設)

〒536-8525 大阪府大阪市城東区森之宮2丁目1番 132号



- ・ Osaka Metro 中央線・長堀鶴見緑地線、JR 大阪環状線「森ノ宮」駅下車、徒歩約13分
- ・ Osaka Metro 長堀鶴見緑地線「京橋」駅下車、徒歩約20分
- ・ JR 大阪環状線・JR 東西線・学研都市線、京阪本線「京橋」駅下車、徒歩約15分
- ・ Osaka Metro 中央線・今里筋線「緑橋」駅下車、徒歩約15分
- ・ Osaka Metro 今里筋線、JR おおさか東線・学研都市線「鳴野」駅下車、徒歩約13分

問合せ先・各キャンパス窓口

お問い合わせの前に、入試に関する Q&A も確認してください。

大阪公立大学 入試に関する Q&A ▶▶▶ https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/qa/	
--	---

【現代システム科学域・農学部・獣医学部】

事 項	問 合 せ 先	電話番号/E-mail
入試に関すること 受験上の配慮に関すること 入学手続に関すること	入試課 (中百舌鳥キャンパス)	072-254-9202 gr-nyu-ask2@omu.ac.jp
修学上の配慮に関すること	アクセシビリティセンター (中百舌鳥キャンパス)	072-254-9867 gr-gks-ac@omu.ac.jp
入学料・授業料に関すること	学生課学生奨学支援室 (杉本キャンパス)	06-6605-2054 gr-gks-gakuhi@omu.ac.jp
経済支援制度に関すること	学生課学生奨学支援室 (杉本キャンパス)	06-6605-2102 gr-gks-shogakukin@omu.ac.jp

【文学部・理学部】

事 項	問 合 せ 先	電話番号/E-mail
入試に関すること 受験上の配慮に関すること 入学手続に関すること	入試課 (杉本キャンパス)	06-6605-2141 gr-nyu-ask2@omu.ac.jp
修学上の配慮に関すること	アクセシビリティセンター (杉本キャンパス)	06-6605-3650 gr-gks-ac@omu.ac.jp
入学料・授業料に関すること	学生課学生奨学支援室 (杉本キャンパス)	06-6605-2054 gr-gks-gakuhi@omu.ac.jp
経済支援制度に関すること	学生課学生奨学支援室 (杉本キャンパス)	06-6605-2102 gr-gks-shogakukin@omu.ac.jp

受付日時：月～金曜日（祝日及び休業日を除く） 9:00～17:00

郵送先

学 部 ・ 学 域	郵 送 先
現代システム科学域・農学部・獣医学部	〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号 大阪公立大学 入試課 (中百舌鳥キャンパス)
文学部	〒536-8525 大阪府大阪市城東区森之宮2丁目1番132号 大阪公立大学 森之宮キャンパス 12F 文学部事務室
理学部	〒558-8585 大阪府大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 大阪公立大学 入試課 (杉本キャンパス)

Web サイト

最新の情報は、Web サイトから確認してください。

大阪公立大学 入試情報サイト
<https://www.omu.ac.jp//admissions/ug>

